

私立大学図書館協会2014年度第4回国際図書館協力委員会議事要録

- ・日 時 2014年10月31日(金) 14:30～16:30
- ・場 所 立命館大学衣笠キャンパス 至徳館 402
- ・出席者 齋藤和子(早稲田) 山岸拓郎(専修) 武山精志(立命館)
金 東澄(関西)
- ・欠席者 豊満朝子(明治) 蓑島智子(中部)
- ・事務局 山崎秀樹(関西) 濱生快彦(関西)
- ・配付資料
 - ・2015年度海外派遣研修応募者一覧 (資料1)
 - ・2015年度海外派遣研修参加申込書(写し)1通 (資料2～5)
 - ・2014年度海外認定研修申請者一覧及び申請書(写し)1通 (資料6～7)
 - ・2014年度国際図書館協力委員会カレンダー (資料8～9)
 - ・2014年度国際図書館協力シンポジウム当日の実施要領案 他 (資料10～12)

- ・審議事項
 - 1 海外派遣研修参加者の面接要領について (資料別配付)
委員長より標記について、資料に基づき次の提議があり、提案どおり了承された。
 - ・海外集合研修面接要領と同様、面接により研修目的・英語能力などを確認する。
 - ・申請者と同じ所属校の委員が面接委員となることを認める。

 - 2 海外派遣研修参加者の決定について (資料1～5)
委員全員で個人面接を行った。その後、採否の審議に入り、次のとおり応募者1名を標記参加者として決定した。
 - ・早稲田大学 藤 順一

 - 3 海外認定研修・一次締切り分の採択について (資料6～7)
2014年10月17日に標記研修の申込み一次締切りを行ったところ、次の一件の申請があった。
 - ・申請者：獨協大学図書館 高島 豊
 - ・テーマ：「学びの場」としての図書館の役割に着目した、ドイツの大学図書館の見学と調査また委員長から、高島氏は2011年度に今回と同様にドイツの大学図書館を調査し、本研修に採択されていることの補足があった。
審議の結果、次の理由により採択することが了承された。
 - ・2回目の申請を禁ずる規則はない。
 - ・海外集合研修や海外認定研修の採択事例を見ると同一人物あるいは、研修の種類は異なるが、同じような内容の研修申請を再度採択していることがある。
 - ・従って採否の判断は報告書の内容次第とする。
 - ・今回の報告書は同氏の2011年度報告書と比較して、踏みこんだ調査が行われており、

内容のレベルが上がっている。ドイツの大学図書館の実情がよくわかり、意義のある優れた報告書である。

なお、採択基準について種々懇談を行った。

4 今後のスケジュールについて (資料 8～9)

カレンダー案に基づき次のことが確認された。

- ・ 2015 年 2 月 20 日開催予定の第 6 回委員会は中部大学または関西大学で開催する方向で調整する。

・ 報告事項

1 海外集合研修事前説明会の実施について

委員長より標記説明会を次のとおり実施したことの報告があった。

- ・ 日 時 2014 年 10 月 24 日 15 時～17 時
- ・ 場 所 関西大学総合図書館 第 2 会議室
- ・ 出席者 委員長、研修参加者 3 名、旅行者 1 名
- ・ 内 容 研修参加者の顔合わせ、旅程および研修内容の説明、
航空券の配付方法、研修先訪問に係る具体的な打ち合わせ

2 国際図書館協力シンポジウムについて (資料 10～12)

委員長より第 3 回委員会以後の標記実施要領案の変更点の説明があった。さらにアンケート用紙の文言を一部修正することが確認された。

また日本語版講演資料を作成するため、英語を日本語に翻訳する作業を専門業者に発注することが了承された。

以 上